

各都道府県の主な事業

<支援制度①>

奈良県

<新たな文化活動チャレンジ補助金>

文化芸術団体等が、自らの創意工夫に基づいて企画・運営を行う優れた事業を支援することで、県民の多くが文化に触れ、楽しむ環境の整備を進め、文化芸術活動を通じた奈良県の活性化を図ることを目指し、「新たな文化活動チャレンジ補助金」制度を創設。

・補助額 上限50万円（特別枠上限100万円）・対象経費の1/2

兵庫県

<ひょうごの芸術文化活動支援事業>

県内に活動拠点を有し、芸術・文化活動を3年以上継続的に行っている団体・個人（以下、「芸術文化団体等」という。）の県内での活動に要する経費の一部を補助することにより、芸術文化団体等の活動の範囲を広げ、活動の活性化を図り、広く県民に芸術文化鑑賞の機会を提供するとともに、芸術文化の振興を目指す。

・補助額 上限15万円

<ひょうごアーティストサロン>

新進・若手アーティストの皆さんの要望に応じて、専門の芸術文化コーディネーターがアドバイスを行うとともに、芸術文化情報、発表の機会などを提供しています。

各都道府県の主な事業

<支援制度②>

香川県

<（公財）置県百年記念香川県文化芸術振興財団 文化芸術振興活動費助成金>

県内で行われる創造的な文化芸術活動や、それらの活動を支える人材の育成を支援。

○助成対象メニュー

- ・文化芸術活動 市町の区域を越えて広域から県民が参加する文化芸術活動の成果発表のための演奏会、
展覧会等の文化活動が対象
- ・若手芸術家活動 若手芸術家(40歳未満)が文化施設又は商店街等のオープンスペース等で行う展覧会、
演奏会等の文化芸術活動が対象
- ・地域活性化活動 文化芸術を活用し、地域を活性化させるために、商店街、公園、街並、空き店舗等の
オープンスペース等で行う活動など、地域の活性化に大きく貢献すると認められる活
動が対象

○助成額 10万円以上100万円以下（特例：香川県文化会館を会場として使用した場合は1/2以内）

各都道府県の主な事業

<情報発信>

山口県

<文化イベント・募集案内、文化芸術団体、文化ボランティア情報のHP提供>

文化イベント・募集案内情報などを絞り込み検索（開催時期、活動分野、エリア別）が可能。

<文化人材バンク>

地域や学校等において実技指導や講義などを行うことのできる芸術家・指導者等として登録。公民館など地域で行われる各種文化教室、学校での授業や部活動等における講師等をお探しの場合などに利用できる。

分野、エリア、指導対象で検索が可能。

大分県

<おおいた文化情報エンジン>

「おおいた文化情報エンジン【Obje】」は、心豊かで活力あふれる県民生活の実現を目指して平成16年に制定された「大分県文化振興条例」をもとに、県内の文化振興を目的として大分県が運営。

- ・掲載内容 イベントピックアップ、大分の文化（コラム、インタビュー）、Webマガジン、バーチャルミュージアム、facebook、ツイッターをフォローする、
- ・携帯・スマートフォンからのアクセスが可能

熊本県

<くまもとアートポリスプロジェクト>

「くまもとアートポリスプロジェクト」は、後世に残り得る優れた建築物を造り、室の高い生活環境を創造するとともに、地域文化の向上を図り、世界への情報発信基地「熊本」を目指すことを目的として、昭和63年に開始された取組。

- ・特徴 全国初の試み
- ・事業 アートポリス事業としてアートポリス建築展、アートポリス見学ツアー等を実施

各都道府県の主な事業

<基金①>

神奈川県

<ブルーダル基金>

神奈川フィルハーモニー管弦楽団の新公益法人への移行までに、債務超過を解消し、財政基盤を強固なものにするため、「がんばれ！神奈フィル 応援団」を結成するとともに、楽団内に「神奈フィルブルーダル基金」を設け、県民からの支援を受け入れている。個人寄付と同額を助成するマッチング方式を導入している。

- ・目標5億円（現在：個人5,872万円 法人4,162万円（9/2現在） マッチング1,647万円）

島根県

<しまね文化ファンド>

島根県は、豊かな自然に恵まれ、その中で固有の風土や伝統文化が育まれてきた。こうした貴重な文化を継承しながら新たな文化の創造も目指し、文化の香りあふれる魅力ある島根を創ろうと平成3年8月に日本最大の文化ファンドとして発足。

- ・委託者（出捐者）：島根県
- ・受託者：三菱UFJ信託銀行株式会社（事務委任先：財団法人島根県文化振興財団）
- ・信託財産：20億円（平成23年3月末）

助成先の決定については委託者である島根県に権限は無く、行政以外の専門家・有識者で構成される運営委員の助言・勧告にもとづいて受託者が行う。県から独立して運営されており、その施策には影響されない。

- ・助成の分野
 - 地域文化振興・・・文化を通じた地域づくりの推進
 - 芸術文化振興・・・地域の特性を活かした芸術文化の振興
 - 国際文化交流・・・国際文化交流の推進
- ・助成 対象経費の1/2（事業によって上限あり）
- ・平成24年度当初助成実績 32件、32,800千円

各都道府県の主な事業

<基金②>

愛知県

<文化振興基金>

文化芸術の振興は、県民の皆様の自主性を尊重するとともに、継続的かつ安定的に施策を展開していく必要がある。このため皆様からいただいた寄附金を「文化振興基金」に積み立て、基金から生ずる運用収益金及び基金取り崩し金を3年毎に愛知県で開催する「あいちトリエンナーレ」の開催経費や、県民の自主的な文化活動事業に対して助成を行う「文化活動事業費補助金」を始めとした各種文化芸術振興事業に充当することにより、県内の文化芸術の振興を図る。

○基金総額（平成24年4月1日現在） 103億6,017万円
（内 訳）寄附金 1億9,990万円（29件）
あいちトリエンナーレ2010県負担金軽減分 1億6,000万円
県出資金 100億円

○運用収益金活用事業（寄附金から生じる利息を財源に事業を実施します。）

・芸術文化選奨事業費

芸術文化の向上発展に貢献し、業績が顕著なものを表彰することにより、本県の芸術文化の振興を図る。

・文化活動事業費補助金（企画提案事業、後継者育成事業）

県内に活動の本拠を置く文化活動団体の行う自発的な文化活動に対して助成を行う。

・（財）愛知県文化振興事業団事業費補助金

世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため幅広く文化事業を展開する。

○基金取り崩し金活用事業（毎年度）（寄附金を財源に事業を実施します。）

・文化活動事業費補助金（文化芸術すそ野づくり事業）

○基金取り崩し金活用事業（3年ごと）（寄附金を財源に事業を実施します。）

・あいちトリエンナーレ開催経費

各都道府県の主な事業

<アーツカウンシル>

東京都

<アーツカウンシル東京準備機構>

アーツカウンシル東京（仮称）は、東京における芸術文化創造のさらなる促進や東京の魅力向上を図るため、新たに芸術文化を推進することを目的として設置。

アーツカウンシル東京（仮称）では、①支援事業として、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、美術・映像等の分野における、企画力の高い公演・展示活動を行う団体に対する助成、②パイロット事業として、多様な芸術文化活動を支える人材の育成事業等を行う。

平成24（2012）年4月1日にアーツカウンシル東京準備機構を設置、平成24年度中にアーツカウンシル東京（仮称）を発足する予定。

- ・アーツアカデミー事業 若手人材に当機構が実施する助成事業の調査員を委嘱し、研修会等を通じて芸術文化活動の評価や支援のあり方等について見識を深めてもらう

<支援事業>

- ・東京芸術文化創造発信助成 東京の芸術文化の魅力の世界に発信する創造活動を支援するため、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、美術・映像等の分野における、企画力の高い公演・展示活動を行う団体に対する助成事業を実施

<パイロット事業等>

- ・アーツアカデミー：プロデューサー等を目指す若手人材を育成する事業を実施
- ・クリエイティブ分野支援事業：映像・アニメ分野の制作者等を目指す人材を育成する事業を実施
- ・隅田川ルネサンス関連事業：隅田川界隈の賑わいを創出する施策に関連した事業を実施
- ・伝統芸能見本市：初心者や外国人にもわかりやすい演目を集めた伝統芸能の公演等を実施

大阪府

<大阪版アーツカウンシル調査検討>

行政は府民の自立と創意に基づく自主的な文化活動のサポートに努めるという「文化振興新戦略」の趣旨を踏まえ、芸術文化に関する助成金等の審査、各種事業の評価等を行う専門家による第三者機関である「アーツカウンシル」を、大阪府・大阪市共同で設立し、府・市の文化行政にPDCAサイクルを確立させることにより、一層効果的な芸術文化施策を推進する。